

## 自転車スマホのない西宮市に

自動車スマホ、歩きスマホ、自転車スマホ（3つをながらスマホと定義）はスマホの普及がなかった10年前と異なり日常に見られる光景です。そして、これらの行為は他人に危害を加える可能性が高いと思われます。スマホの上記以外の負の部分については、市が考えることではありませんが、依存症の人間を作る、一つのことに集中できない、自分で深く考えない、いじめの原因にもなりえます。

私たちは歩きスマホや自転車スマホのない西宮市を希望しています。自動車スマホ（スマホ運転）については、国家レベルの話と考えていますので国会議員に提案すべき案件と思うので今回の提案ではコメントしません（[添付資料1](#)）。

歩きスマホや自転車スマホは、とっさの反応がおそい高齢者に大怪我ひいては死亡させる可能性があります。歩きスマホや自転車スマホをしている人たちは他人を避けることができると思っているかもしれませんが、多くの高齢者はあなたたちを怖がって、避けているのは事実です。

市民の声に投稿する人が少ないのは、そう思っている人が少ないからではなく、文字化してきちんと要望するには一般の高齢者にはハードルが高いと思われます。

## 自転車スマホの認識に関する市への質問

夜の9時ころに、札幌筋と43号線の交差点あたりで10～15分観察すると、少なくとも数名の自転車スマホを見ることができます

Q1 多くの人、特に夜間に自転車スマホをしている状況を市は把握しているか？

Q2 それをどれくらい危険であると考えているか？

Q3 高校生以下では他人にぶつかってもあやまらずにすぐに逃げていく人が多いという事実を認識しているか？

Q4 市が危険と認識しているのであれば、それにどのような対応を考えているのか？

## 歩きスマホに対して市への質問

Q5 交差点などでの歩きスマホがどれくらい多いか、どれくらい危ないかと認識しているか？

Q6 車運転している立場（ドライバー）からみて、歩きスマホはどれだけ危険と思うか？そしてドライバーに加害者になりえるストレスを与えていることについてどう思うか？

Q7 市が危険と認識しているのであれば、それにどのような対応を考えているのか？

歩きスマホや自転車スマホには危険であり、特に夜間の自転車スマホを速やかに中止させることが我々の目的であり、要望とは我々が考えるその方法論である。

## 要望

「スマホ自転車は極めて危険である」を広報する 1) - 5)

1) 「スマホ自転車は危ない」というポスター（例えば当方が作成したもので可だが、下段に西宮市の印字が必要）を作成する。

公共施設や学校（校内と校庭外周）に掲示するように市から要請し、市中の電柱、個人の希望者には配布できるようにする。市と関与する企業団体に積極的にポスターの掲載をお願いする。

2) 「市民だより」に歩きスマホや自転車スマホの危険性を掲載する（条例になれば、禁止条例ができたとのアナウンス）

3) 西宮市の主要な駅（例えば、阪神西宮、阪神甲子園、阪急西宮北口、阪急夙川、JR 西宮）で、「歩きスマホ、自転車スマホは本人にとっても、相手にとっても危険です。スマホ操作は立ち止まって行うというエチケットを守りましょう」を定時的に放送する（もしくは西宮市の放送カーにお願いする）

4) 市の管轄である、小学校、中学校、高校、大学、専門学校にスマホ自転車の危険性を周知徹底させる講義を繰り返し行ってもらおう。ホームルームで例えば「スマホ自転車により高齢者に怪我させた例」を提示して、全員で考える機会を与える（[浜脇小学校の例添付](#)：校長からながらスマホの講習を行ったと父兄に報告）。

5) 私の以下の[投稿文](#)を一人の市民からということで配布していただく。

6) 歩きスマホ、自転車スマホ（年齢制限なし）禁止の条例作成を希望する。

これがなくても上記の 1-5 を実行できるなら、条例作成は急がない

7) 警察から委託を受けた人が、実際に自転車スマホしている人を呼び止めて注意する（とりあえず、阪神西宮駅南から始める）

日時限定で警察官が駅周辺の自転車スマホを注意する

（条例がなくても道路交通法違反になったということで可能なら、可及的速やかには実施してほしい）

8) ポスターが西宮市で掲載されて半年後、スマホ自転車が減少しないと評価されていなければスマホ自転車については 1000 円の罰金を設定する。

伊賀幹二

西宮・芦屋支部 副支部長  
伊賀内科・循環器科